人生設計、お金かかるなぁ

岐阜信金、西濃信金が子ども金融教室

夏休みを利用した小学生向け金融教室が6、7の両日、岐阜信用金庫(岐阜市)や西濃信用金庫(瑞穂市)で開かれ、児童がクイズやゲームを楽しみながら「お金」の価値や仕組みを学んだ。

両金庫がそれぞれ、地域貢献やCSR(企業の社会的責任)の一環で開催。講師はいずれも岐阜大教育学部教授の大藪千穂さんが務めた。

岐阜市神田町の岐阜信金本店では7日、小学4~6年生と保護者の30組60人が参加し、金融クイズや人生設計ゲームに挑戦した。

大藪さんが開発した人生設計ゲームは、年収を設定し、結婚や住宅購入など年代ごとのイベントに伴う支出を計算。子どもたちは病気や遺産相続などイレギュラーな要素も加え、電卓をたたきながら人生にどれくらいお金がかかるかを学んだ。



大藪千穂さん(右端)に教わり、電卓をたたいて〝人生設計〟する子どもたち＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店

大藪さんは「小学生1人につき1日約2千円の税金がかかると言われる。お金を稼げない皆さんは、家の手伝いをして家計を助けて」と語り掛けた。

西濃信金でも小学4~6年生と保護者ら約60人が参加。同じくクイズやゲームを通してお金の大切さを学んだ。(宮本覚)

無断複製・転載を禁じます